

コロナ禍で行う地域リハビリテーション活動支援事業の課題とは

— 介護予防活動参加者および主催者に対するアンケート調査より —

小武海 将 史¹⁾ 奥 壽 郎²⁾

¹⁾ 介護老人保健施設 ハートケア湘南・芦名 リハビリテーション科

²⁾ 大阪人間科学大学 保健医療学部 理学療法学科

What are the challenges of the community rehabilitation activity support project conducted in the corona whirlpool?

— From a questionnaire survey of participants and organizers of preventive care activities —

Kobukai Masashi¹⁾ Oku Toshiro²⁾

¹⁾ Nursing care facility Heart Care Shonan Ashina

²⁾ The Department of Physical Therapy, Faculty of Health Sciences Osaka University of Human Sciences

Abstract : [Purpose] Conducting a questionnaire survey on the operation status of community-sponsored gatherings hosted by local residents during the corona crisis, feelings of participating in community activities and gatherings during the corona crisis, infection control measures at the gatherings, etc. We will examine the challenges for community activities, commuting places, and nursing care prevention during the COVID-19 pandemic. [Method] A questionnaire survey was conducted on preventive care projects after COVID-19 infection among 43 participants and 6 organizers of a preventive care seminar in Yokosuka City, Kanagawa Prefecture. [Results] The awareness of care prevention among the participants was high, and more than 80% of the community activities were resumed after changing the content. However, it is suggested that the participation of elderly people is decreasing for online management. There was a difference of opinion between the participants and the organizers about the effectiveness of the corona vaccine. [Discussion] Local activities have started to resume and are heading in a good direction. On the other hand, participants and organizers are worried about infection control, sharing correct knowledge, and infection control according to regional characteristics.

Key Words : Corona disaster, Corona frailty, Regional rehabilitation activity support project

要旨 : 【目的】 コロナ禍での地域住民主催の通いの場の運営状況、コロナ禍での地域活動や通いの場に参加する心情、通いの場での感染対策などのアンケート調査を行い、今後のコロナ禍での地域活動や通いの場、介護予防に対する課題を検討する。【方法】 神奈川県横須賀市地域の介護予防講習会の参加者43名、主催者6名を対象に、コロナ感染後の介護予防事業に関してアンケート調査を実施した。【結果】 参加者の介護予防意識は高く、80%以上の地域活動は内容を変更し再開されている。しかしながらオンラインを用いた運営に関しては高齢者の参加減少が示唆される。コロナワクチンの有効性について参加者と主催者で意見の違いが見られた。【考察】 地域活動は再開され始め良い方向に向かっている。反面、参加者・主催者の不安は感染対策であり正しい知識の共有、地域特性に沿った感染対策が課題である。

キーワード : コロナ禍、コロナフレイル、地域リハビリテーション活動支援事業

1. 緒言

2020年1月より明らかとなった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に伴い、それまでに行ってきたリハビリテーション活動支援事業による介護予防を目的とする体操教室などの運営や、自主グループの立ち上げが以前の様にリハビリテーション専門職による支援もコロナ前に比べて不十分であるのが現状である。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止として、長期化する自粛生活をもたらす高齢者の生活不活発によるフレイルのことを“コロナフレイル”と呼び、この“コロナフレイル”が身体的フレイルや心理精神的フレイルを引き起こすことが示唆される。このまま自粛生活が長期化し固定化してしまうと、フレイルの出現割合も高くなり、自宅での転倒をきっかけに入院や新規の要介護認定者数の増加が懸念される¹⁾。

また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の精神的影響は、独居や孤独感を感じている高齢者や認知機能の低下がある高齢者ほど、その影響が大きく、高齢者の行動も変容している。感染パンデミック期間は生活範囲が大幅に減少し、3分の1が受診控えをしており、適切な医療的措置を受ける機会も減っていたとの報告もある²⁾。

昨今、感染対策を講じた介護予防事業などの再開が少しずつ進み始めているが、未だ十分に再開出来ていないとは感じられない。事実、感染対策の観点より当リハビリテーション科において、地域での活動に対し消極的であるのが現状である。

そこで今回、神奈川県横須賀市主催の介護予防サポーター養成講座に参加する機会を得たので、コロナ禍での地域住民主催の通いの場の運営状況、コロナ禍での地域活動や通いの場に参加する心情、通いの場での感染対策などのアンケート調査を行い、今後のコロナ禍での地域活動や通いの場、介護予防事業に対する現状の課題を検討する。

2. 介護予防サポーター養成講座とは

介護予防サポーター養成講座とは、神奈川県横須賀市が主催する、市内在住・在勤で地域の介護予防活動に関心のある方を対象に、地域の中で介護予防活動を行うボランティアの育成を目的に、地域での活動に役立つ各種体操等の実技研修、栄養、認知症

などの知識普及の養成講座である。参加の条件は、年齢および性別は不問としており、参加費は無料である³⁾。

3. 対象

アンケート（以下：調査）の目的と内容を口頭で説明し同意を得た神奈川県横須賀市主催の介護予防サポーター養成講座（2022年5月16日、2022年6月29日の2回開催）参加者43名（男性2名：30代1名60代1名、女性41名：40代1名50代2名60代10名70代19名80代9名）と主催者の地域包括支援センター職員（以下：主催者）6名（男性1名：50代、女性5名：40代2名50代3名）を対象とした。

4. 方法

調査内容は、コロナ禍での地域住民主催の通いの場の運営状況、コロナ禍での地域活動や通いの場に参加する心情、通いの場でのコロナ感染対策などを、選択式および自由記載による自記入式調査とした（表1、2）。表1に参加者用の調査票を表に主催者用の調査票をしめした。調査用紙を2022年5月16日、2022年6月29日の2回講習会終了後に配布し同日に回収した。データ解析は自由記載式の設問はK-J法で処理し選択式の設問とともに単純集計を行い百分率で表示し、参加者と主催者に分けて検討した。

本調査は施設の研究倫理委員会の承認を得て実施した。

5. 結果

〈参加者へのアンケート結果〉（表3）

今までに体操教室や趣味活動など、「住民主体の通いの場に参加したことはありますか？」の設問では、「はい」（79.0%）・「いいえ」（21.0%）であった。

前の設問で「はい」（参加したことがある）と回答した者に対して、「現在その通いの場の運営は継続していますか？」の設問では、「している」（73.6%）・「していない」（26.4%）であった。「していない」と回答した者に対して「していない理由」（複数回答可）についての設問では、「コロナウイルス感染防止のため」（88.8%）・「参加者がいないから」（11.1%）・「緊急事態宣言などがあったから」

表1 参加者へのアンケート調査票

高齢者の地域活動参加についてのアンケート								
<p>この度はご参加いただき誠にありがとうございます。 近年コロナウイルスの感染拡大で、地域活動を積極的に行っていた以前とは違い、地域の活動や介護予防に対する取り組みが難しくなっていると思います。そこで、現在の皆様のご意見をお聞かせ頂きたい、以下のアンケートにご協力の程よろしくお願い致します 以下のアンケートのあてはまるものに○をしてください。</p>								
性別	・男性	・女性						
年齢	・20代	・30代	・40代	・50代	・60代	・70代	・80代	・90代以上
1 今までに「体操教室」や「趣味活動」、「地域のサロン」などデイサービス以外の通いの場に参加したことはありますか？								
<ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ 								
2 「1」ではいに○をした方のみお答えください 現在その通いの場の運営は継続していますか？								
<ul style="list-style-type: none"> ・している ・していない 								
3 「2」でしていないに○をした方のみお答えください。(複数回答可)								
通いの場の運営が止まっている理由はなんですか？ <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染防止の為 ・参加者がいないから ・主催者がいないから ・感染対策がわからないから ・感染クラスターが出てしまったら責任があるから ・緊急事態宣言などがあったから ・その他 () 								
4 「1」でいいえに○をした方のみお答えください 現在参加できる通いの場を知っていますか？								
<ul style="list-style-type: none"> ・知っている ・知らない 								
5 コロナ禍でも地域活動や通いの場は必要だと思いますか？								
<ul style="list-style-type: none"> ・必要だと思う ・わからない ・必要だとは思わない 								
6 コロナ禍での地域活動や通いの場に参加をする上で今のお気持ちについてお伺いします。								
* 感染対策を行った、通いの場や地域の活動があったら参加しますか？ <ul style="list-style-type: none"> ・参加したい ・わからない ・参加したくない * コロナワクチンは、コロナ感染予防に効果的だと思いますか？ <ul style="list-style-type: none"> ・思う ・どちらでもない ・思わない * コロナ感染対策をしっかりと行っている通いの場で起きたコロナ感染は仕方がないと思いますか？ <ul style="list-style-type: none"> ・思う ・どちらでもない ・思わない * その他、通いの場とコロナ感染に関して思うことがございましたらご記入ください ()								
7 通いの場を再開する際の感染対策に対してどのように考えていますか？(複数回答可)								
<ul style="list-style-type: none"> ・自分で積極的に対策を立てる ・会のリーダー達と対策を立てる ・感染対策を教えてほしい ・誰かがやってくれるのを待つ ・特に感染対策は考えない ・その他 () 								
アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。 介護老人保健施設ハートケア湘南・芦名 リハビリテーション科 理学療法士 小武海将史								

(11.1%)であった。前の設問で「いいえ」(参加したことがない)と回答した者に対して、「現在参加できる通いの場を知っていますか？」の設問では、「知っている」(33.3%)「知らない」(66.7%)であった。

「コロナ禍でも地域活動や通いの場は必要だと思いますか？」の設問では、「必要だと思う」(95.4%)・「わからない」(2.3%)・「必要だとは思わない」(2.3%)であった。

「コロナ禍での地域活動や通いの場に参加をする上で今のお気持ちについてお伺いします」では、「感染対策を行った通いの場や地域の活動があったら参加しますか？」の設問では、「参加したい」(76.7%)・「わからない」(21.0%)・「参加したくない」(2.3%)であった。「コロナワクチンはコロナ感染予防に効果的だと思いますか？」の設問では、「思う」(93.0%)・「わからない」(7.0%)であった。「コロナ感染対策をしっかりと行っている通い

表2 主催者へのアンケート調査票

高齢者の地域活動 主催者様へのアンケート							
<p>近年コロナウイルスの感染拡大で、地域活動を積極的に行っていた以前とは違い、地域の活動や介護予防に対する取り組みが難しくなっていると思います。そこで、現在の主催者様のご意見をお聞かせ頂きたく、以下のアンケートにご協力の程よろしくお願い致します</p> <p>以下のアンケートのあてはまるものに○をしてください。</p>							
性別	・男性	・女性					
年齢	・20代	・30代	・40代	・50代	・60代	・70代	・80代
							・90代以上
<p>1 今まで立ち上がった通いの場合は、現在運営していますか？（複数回答可）</p> <p>・以前と同じ規模で再開 ・人数を制限して再開 ・形態などを変更して再開</p> <p>・再開できていない ・その他（ ）</p>							
<p>2 「1」で、人数の制限や形態を変更して再開したに○をつけた方にお聞きします。</p> <p>理由をお聞かせください。</p> <p>（ ）</p>							
<p>3 「1」で、再開できていないに○をつけた方にお聞きします。（複数回答可）</p> <p>通いの場の運営が止まっている理由をお聞かせください。</p> <p>・コロナウイルス感染防止の為 ・参加者がいないから ・主催者がいないから</p> <p>・感染対策がわからないから ・感染クラスターが出たら責任があるから</p> <p>・その他（ ）</p>							
<p>4 コロナ禍でも地域活動や通いの場は必要だと思いますか？</p> <p>・必要だと思う ・わからない ・必要だとは思わない</p>							
<p>5 コロナ禍での地域活動や通いの場を行う上で今のお気持ちについてお伺いします。</p> <p>* 感染対策を行えば、地域の活動をどんどんやりたいと思いますか？</p> <p>・思う ・どちらでもない ・思わない</p> <p>* コロナワクチンは、コロナ感染予防に効果的だと思いますか？</p> <p>・思う ・どちらでもない ・思わない</p> <p>* コロナ感染対策をしっかりと行っている通いの場で起きたコロナ感染は仕方がないと思いますか？</p> <p>・思う ・どちらでもない ・思わない</p> <p>* コロナ感染やクラスターが発生してしまった時の対応などは決まっていますか？</p> <p>・決まっている ・どちらでもない ・決まっていない</p> <p>* コロナ禍で行う地域支援事業に関して思うこと等が御座いましたらご自由にご記入ください。</p> <p>（ ）</p>							
<p>アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">介護老人保健施設ハートケア湘南・芦名 リハビリテーション科 理学療法士 小武海将史</p>							

の場で起きたコロナ感染は仕方ないと思いますか？」の設問では、「思う」（74.4%）・「わからない」（23.3%）・「思わない」（2.3%）であった。

「通いの場を再開する際の感染対策に対してどのように考えていますか？」（複数回答可）の設問では、「自分で積極的に対策を立てる」（27.9%）・「会のリーダー達と対策を立てる」（55.8%）・「感染対策を教えてほしい」（11.6%）であった。

「通いの場とコロナ感染に対して思うこと」（自由記載）では、「感染症に対応しながら通いの場を続けて欲しい」・「最低限のルールを守って行動」・「私が

コロナに感染することで家族に迷惑をと考えてしまい何処へも行けない」などの意見があった。

〈主催者へのアンケート結果〉（表4）

「今までに立ち上がった通いの場は現在運営していますか？」（複数回答可）の設問では、「人数を制限して再開」（33.3%）。「形態などを変更して再開」（83.3%）・「再開できていない」（33.3%）・「その他」（16.6%）であった。

前の設問で「人数の制限や形態を変更して再開した」と回答した者に対してその内容についての設問では、「zoomを使用して行っている」。「屋外で行え

表3 参加者アンケート集計表

参加者アンケート集計表	
基本属性	
性別・年齢層	
男性2名：30代1名、60代1名	
女性41名：40代1名、50代2名、60代10名、70代19名、80代9名	
1	今までに「体操教室」や「趣味活動」、「地域のサロン」などデイサービス以外の通いの場に参加したことはありますか？
	はい 79.0%
	いいえ 21.0%
2	「1」ではいに○をした方のみお答えください 現在その通いの場の運営は継続していますか？
	している 73.6%
	していない 26.4%
3	「2」でしていないに○をした方のみお答えください 通いの場の運営が止まっている理由は何ですか？（複数回答可）
	・緊急事態宣言などがあったから。 11.1%
	・感染クラスターが出てしまったら責任を感じるから。 0%
	・感染対策がわからないから。 0%
	・主催者がいないから。 0%
	・参加者がいないから。 11.1%
	・コロナウイルス感染予防の為。 88.8%
4	「1」でいいえに○をした方のみお答えください 現在参加できる通いの場を知っていますか？
	知っている 33.3%
	知らない 66.7%
5	コロナ禍でも地域活動や通いの場は必要だと思いますか？
	必要だと思う 95.4%
	わからない 2.3%
	必要だと思わない 2.3%
6	コロナ禍での地域活動や通いの場に参加をする上で今のお気持ちについてお伺いします。 *感染対策を行った、通いの場や地域の活動があったら参加しますか？
	参加したい 76.7%
	わからない 21.0%
	参加したくない 2.3%
	*コロナワクチンは、コロナ感染予防に効果的だと思いますか？
	思う 93.0%
	どちらでもない 7.0%
	思わない 0%
	*コロナ感染対策をしっかりと行っている通いの場で起きたコロナ感染は仕方がないと思いますか？
	思う 74.4%
	どちらでもない 23.3%
	思わない 2.3%
7	通いの場を再開する際の感染対策に対してどのように考えていますか？（複数回答可）
	・自分で積極的に対策を立てる。 27.9%
	・会のリーダー達と対策を立てる。 55.8%
	・感染対策を教えてほしい。 11.6%
	・誰かがやってくれるのを待つ。 0%
	・特に感染対策は考えない。 0%
	・その他 9.3%
	・未記入 9.3%
8	その他、通いの場とコロナ感染に関して思うことがございましたらご記入ください
	・マスクをして屋外で行うと良いのでは。
	・感染対策していればクラスターは防げると思う。
	・感染対策に常に注意し地域活動に参加したい。
	・感染症に対応しながら通いの場を続けてほしい
	・コロナに感染するのも困りますが地域活動も大切なので悩みどころです
	・一日も早くマスクを外した生活がしたいと思います。
	・いろいろな行事が復活することを望みます
	・今はどこでも感染予防が出てきている
	・最低限のルールを守って行動
	・参加する前に各々が考えることが大切
	・一人一人が気を付ければよいと思う
	・どこかで私がコロナに感染したら家族に迷惑を…と考えると何処にも行けない 等

るウォーキングに変更した」・「会場の指針で人数の制限があるのでオンラインと並行」などであった。前の設問で「再開できていない」と回答した者に対してその理由についての設問では、すべて「コロナウイルス感染防止のため」であった。

「コロナ禍でも地域活動や通いの場は必要だと思いますか？」の設問では、すべて「必要だと思う」の回答であった。

「コロナ禍での地域活動や通いの場を行う上で今のお気持ちについてお伺いします」に対して、「感染対策を行えば、地域の活動をどんどんやりたいと思いますか？」の設問では、すべて「思う」との回答であった。「コロナワクチンはコロナ感染予防に効果的であると思いますか？」の設問では、「思う」(16.7%)・「どちらでもない」(83.3%)であった。「コロナ感染対策をしっかりと行っている通いの場で起きたコロナ感染は仕方がないと思いますか？」の設問では、「思う」(33.3%)・「どちらでもない」(66.7%)であった。「コロナ感染やクラスターが発生してしまった時の対応などは決まっていますか？」の設問では、すべて「決まっている」との回答であった。

「通いの場とコロナ感染、地域支援事業に関して思うこと」(自由記載)の設問では、「感染予防を気にしすぎるあまり、認知力の低下や身体機能の低下、意欲の低下が生じている方が多い様に思う」・「コロナ感染を心配して外出しない方が多い」・「一言でいうと難しい、どんなに対策してもリスクはある」・「通いの場ではなく家庭内感染だったとしても、通いの場が悪いというイメージが強い」・「地域は活動を望んでいる」・「今年になって緩和されたが、会場の指針で制限が多く活動に苦戦する。」・「オンラインが予想以上に普及され活用できることが分かった」などの意見であった。

6. 考察

今回参加者の約80%が体操教室や通いの場(以下:地域活動)に参加したことがあり、この結果からも参加者の介護予防に対する意識は高いと考えられる。

コロナ禍での地域活動の運営状況に関しては、コロナウイルス感染予防、緊急事態宣言などにより地

域活動が停止していたが、本調査結果より、参加者において73.6%が継続できている、主催者においては、形態を変更して再開しているが83.3%、人数を制限して再開しているが33.3%であった。地域活動の83.3%が再開されているが、以前と同じ規模での再開に至っていないことが明らかになった。これは、ZOOMなどのオンラインを活用した運営や屋外活動(ウォーキング等)など感染対策を講じながらの地域活動の再開を主催者が地域に発信することで地域活動が動き始めているものと考えられた。

しかしながら、運営の課題として人数制限による参加者の減少、オンラインに対応出来ない高齢者の参加減少があげられる。また、参加者の中で地域活動に参加したことのない者の約60%が「現在参加できる地域活動を知らない」と回答していることから地域への発信も不十分であることが示唆され今後の課題であると考えられる。

コロナ禍での地域活動に参加する心情として、「コロナ禍でも地域活動や通いの場は必要だと思いますか？」に対し、参加者では95.4%の者が「思う」、主催者においてはすべてが「思う」であった。この結果からも介護予防に対する意識の高さが伺える。

しかし、地域活動は必要と思うとの回答が多かったが、コロナ禍での地域活動参加の有無では、23.3%の者が参加に消極的な結果であった。また、自由記載の設問でも、感染対策に対する不安が示唆される。これらのことより、参加者・主催者ともに現状の感染対策には不安を感じていると思われる。

感染が発生した場合の対応については、すべて発生時のマニュアルの作成がなされていた。しかしながら、主催者、参加者共に感染対策に対する意識意欲の高さが伺えているが、同時にコロナウイルスに対する知識量については個々に差異が生じている。

感染対策のコロナウイルスワクチンの有効性に関しては、参加者では、93%が「有効であると思う」に対し、主催者では、16%にとどまっていた。有効性に対する考えに差が生まれている結果であった。

コロナワクチンの有効性に対し厚生労働省は、ワクチン2回接種で発症予防効果ファイザー社95%、モデルナ社94%、重症化予防両社90%、感染予防効果としてファイザー社88%(5か月後47%)モデル

表4 主催者アンケート集計表

主催者 アンケート集計表	
基本属性	
性別・年齢層	
男性1名：50代	
女性5名：40代2名、50代3名	
1	<p>今まで立ち上がった通いの場合は、現在運営していますか？（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前と同じ規模で再開 0% ・人数を制限して再開 33.3% ・形態などを変更して再開 83.3% ・再開できていない 33.3% ・その他 16.6%
2	<p>「1」で、人数の制限や形態を変更して再開したに○をつけた方にお聞きします、理由をお聞かせください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と共催で ZOOM を使用して体操教室などを行っている。 ・屋内活動は少なく、屋外でウォーキングに切り替えて教室を行っている。 ・感染対策を講じていることで感染者は出ていない。 ・福祉施設で開催していた通いの場合は感染予防の為施設を利用することができなかつた為、屋外で行うなど形態を変更した。 ・感染に配慮し飲食は中止している。 ・会場の指針で人数制限となつてしまったため、オンラインと併用して開催 ・体操から交流談話会へ変更された。
3	<p>「1」で、再開できていないに○をつけた方にお聞きします。 通いの場の運営が止まっている理由をお聞かせください。（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言などがあつたから。 0% ・感染クラスターが出てしまつたら責任を感じるから。 0% ・感染対策がわからないから。 0% ・主催者がいないから。 0% ・参加者がいないから。 0% ・コロナウイルス感染予防の為。 100%
4	<p>コロナ禍でも地域活動や通いの場は必要だと思ひますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要だと思ひ 100% わからない 0% 必要だと思ひない 0%
5	<p>コロナ禍での地域活動や通いの場を行う上で今のお気持ちについてお伺ひします。 * 感染対策を行えば、地域の活動をどんどんやりたいと思ひますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 思ひ 100% どちらでもない 0% 思ひない 0% <p>* コロナワクチンは、コロナ感染予防に効果的であると思ひますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 思ひ 16.7% どちらでもない 83.3% 思ひない 0% <p>* コロナ感染対策をしっかりと行つている通いの場で起きたコロナ感染は仕方がないと思ひますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 思ひ 33.3% どちらでもない 66.7% 思ひない 0% <p>* コロナ感染やクラスターが発生してしまつた時の対応などは決まつていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 決まつている 100% どちらでもない 0% 決まつていない 0%
6	<p>その他、通いの場とコロナ感染に関して思ひることがございましたらご記入ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動は少しずつ再開してきている。 ・地域は活動を望んでいる。 ・案内を出すと募集以上の人が集まる。デイサービスなどには行きたくないとの声が多い。 ・地域支援事業を担うものとして、正しい知識を持ち正しく恐れながら安全に活動できる支援をしていかないといけなひ。 ・地域活動は基本的に事故責任であり、介護サービスはサービス事業所に責任があると考える。そこをはき違えたと活動支援はできなひと考える。 ・通いの場に参加できなくなり、介護を要するようになった方が増えてきている。如何に通いの場が有効的・効果的であつたかを示している。 ・コロナと付き合いながらも人が集める環境を提供できるようにコーディネートするのが我々医療福祉に携わる者の使命だと思ひ ・今年になつて緩和されたが、会場の指針で制限が多く活動に苦戦する。・オンラインが予想以上に普及され活用できることが分かつた。 ・誰かが旗振りをしなひと物事が進まないの、その存在はとても大切だと思ひ

ナ社97%（4か月後80%）である。また、オミクロン株に対しては、感染予防効果はモデルナ2回接種後14～90日後44.0%、発症予防効果は、ファイザー社及びモデルナ社のワクチン2回接種後2～4週間後65～70%で、25週間後には10%程度に低下すると報告している⁴⁾。

今回有効性の考えに差が生まれた要因として、参加者は各ワクチン2回接種後の90%以上の発症予防効果をイメージし、主催者は予防効果の減少、継続的ワクチン接種の必要性を踏まえてのアンケート回答であったのではないかと考えられる。

これらの調査票を結果より、参加者・主催者ともに感染対策に対し意欲的に行っているが、参加者・主催者ともにコロナウイルスに対する知識、感染対策への不安感に差異があることから、地域活動の参加に対し消極的となっていると考えられる。

今後の課題として、コロナウイルスに対する正しい知識を共有し、開催する会の特徴に合わせた感染対策の再構築が必要であると考ええる。

今回のアンケート結果より、運営・心情・感染対策における課題を把握し検討したことで、今後のコロナ禍での介護予防や地域との関わり、地域リハビリテーション活動支援事業の再開を進めるきっかけにしていきたい。

7. 結 語

1. 参加者の約80%が体操教室や通いの場に参加したことがあり、この結果からも介護予防に対する意識は高いと考えられる。
2. 地域活動の83.3%が再開されているが、以前と同じ規模での再開に至っては0%である。これは、ZOOMなどのオンラインを活用した運営や屋外活動（ウォーキング等）など感染対策を講じながらの地域活動の再開を主催者が地域に発信することで地域活動が動き始めた良い結果と考える。反面、運営の課題として人数制限によ

る参加者の減少、オンラインに対応出来ない高齢者の参加減少があげられる。又、地域活動に参加した事のない者の約60%が現在参加できる地域活動を知らないと答えていることから地域への発信は不十分と考えられる。

3. 参加者・主催者ともに感染対策に対し意欲的に行っているが、参加者・主催者ともに各々コロナウイルスに対する知識、感染対策への不安感に差異がある。
4. 地域活動参加の課題として、コロナウイルスに対する正しい知識を共有し、開催する会の特徴に合わせた感染対策を再構築することが重要であることが確認できた。

8. 利益相反

本論文に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。

9. 謝 辞

本研究にあたりアンケート調査にご協力いただいた皆様に感謝いたします。

10. 文 献

- 1) 高井逸史, 山崎暁子, 工藤節美: 緊急事態宣言が要介護者の健康に及ぼす影響. Osaka University Knowledge Archive: 8月, 2021年
- 2) 篠原智行他: 新型コロナウイルス感染症対策の期間におけるフレイルの経時変化の要因は何か, 地域理学療法学: 早期公表
- 3) 横須賀市ホームページ: 介護予防サポーター養成講座 www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3130/kouzakyoushitsu/2020601kaigoyobousapoter.html 閲覧日令和4年11月20日
- 4) 厚生労働省ホームページ: 新型コロナワクチンの有効性・安全性について www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yuukousei_anzensei.html 閲覧日令和4年11月20日

受付日: 2023年1月12日